



一隅を照らそう  
3月号

350号  
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



# 南無阿弥陀仏と光明真言

住職 中島 有淳

コロナ禍の影響で、入院すると面会が出来ないという話はよく聞きます。高齢者のホームや介護施設も同様です。身内の人でも仲々会えず、不幸にして亡くなったたりしても家にも帰れずに葬祭場へ直行。そこに向くのは近親者のみで、葬儀も一日という形が増えて来ました。

そんな状態からいつしか法事も家族だけで催し、すっかり寂しなってしまう……。悼みの形態が変化し、人との接触も少なくなっています。

現世社会から旅立ち、極楽世界の阿弥陀仏に冥福を祈り、そこでは名号である「南無阿弥陀仏」とお唱えします。何度も念仏を繰り返し、自身の仏と西方の仏(阿弥陀仏)に救いを願うのです。これらは仏教でも顕教の世界観です。密教でも念仏と同様に「光明真言」を唱えます。

「オンアボキヤビロシヤナマカモダラ マニハンドマジンバラハラワリタヤウン」と何回も唱えます。

此の真言の功德を述べれば初めに滅罪の利益、次に抜苦利益、次に加持土砂功德、この下に亡者三悪道の苦報を救い、西方極楽世界の蓮華の中に生ぜしむと説けり。次に鬼病の難を救う。次に病難を救う。云々。『統天台学概論』福田堯穎著

また、天台座主第十八代慈恵大師良源(912〜985)は『慈恵大僧正御遺告』に、自分の死後遺弟に廟所に石の塔婆を立て、これに随求陀羅尼、大仏頂尊陀羅尼、光明真言などを書くように遺言します。さらに恵心僧都源信(942〜1017)は『往生要集』に光明真言等の受持誦誦等を以って往生極楽の業であると述べています。

良源―源信―法然―と日本浄土教が発展し、熟成していく過程で「南無阿弥陀仏」と唱えて極楽往生を願うという易行は、民衆の心を捉え大いに栄えました。

一方、密教の光明真言は「土砂加持法」として加持した砂の力によって罪障を滅し、多くの功德を得るとされてきたのです。

## ① 光明真言の意味

オン ア ボ キヤ ビ ロ シヤ ナ マ カ モ ダラ  
om (壽命) amogha (不空) vairocana (光明遍照) mahāmudra (大印)

マ ニ ハンドマ ジンバラ ハラ バ リタヤ ウン  
maṇi (如意宝珠) padma (蓮華) jvala (光明) pravarttaya (轉) hūm (歡喜)

### 【意味】

(不空遍照の大印は宝珠・蓮華・光明の諸徳を具有し、これを転じて行者の身に満たさせん)  
(帰命したてまつる。不空遍照尊よ、大印者よ。摩尼と蓮華との光明を汝は展転せしめよ。フーン)  
『密教辞典』 法蔵館

## 折りふしのはな

### 河津桜

「これ 庭の河津桜です  
喜んでくれる所に  
飾ってもらった方が  
花もいでしょうから」  
大きな枝ですね

「木に登って  
鋸で切ったんです」  
ワ―怪我しないように  
気をつけて下さいね  
亡くなられた

ご主人の面影もたどりながら  
しばらく 花を  
楽しませて頂きます (遊)



## 行事案内

- ◎毎月八日 午後二時  
薬師如来祈禱会 観音経誦誦
  - ◎毎月十二日 午後二時  
智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
  - ◎毎月十八日 午後二時  
観音経誦誦法要(於・神木観音堂)
  - ◎毎月二十八日 午後二時  
不動明王護摩供修行
- ※マスク着用の上、静かにご参詣下さい  
\*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております  
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

3/11(土)月例  
「止観(坐禅)会」 9:30-10:30(¥500)  
「法華経を読む会」 11:00-12:00(¥300)

## トルコ・シリア地震災害義援金 ご協力をお願い

報道等でご承知の通り、五万人を超える死者と二三〇万人を超える被災者が苦しんでいます。天台宗の「一隅を照らす運動総本部の地球救援募金」に、指定寄付として送金します。三月二十八日迄に当山迄お寄せ戴ければ幸いです。 合掌

あとがき

ロシアのウクライナ侵攻からまる一年。開戦から停戦への出口の道は、種々な障害があり、厳しい。制裁への効果も疑問視され始め世界は大きな二極化へ。美しい地球は人間の業によって大きく綻びてきています。

震災後初めて原発再稼働の賛成が51%になったという。反対は42%だったと。原子力政策が大きく転換されようとしている中で賛否にこの数字は何かタイミングが良さげないか。

伝教大師最澄が東国巡錫の折、長野県に「廣極院」というお堂を建設。このお寺が現存し、先般訪問しました。訪問記を当山のホームページ「note(ノート)」で公開しています。(副住職)

近くの公園に「黒竹の花が咲きました。数十年から百二十年に一度咲くと言われ、とても貴重な機会です」とありました。(遊)

春一番と共に鼻がムズムズ……。  
どうかお大事にお過ごし下さい。